

輸送新地金・二次合金 スクラップが増加

アルミ圧延品 二次合金地金は生産、出荷とも増  
生産は微増

橋本健一郎氏リポート②



橋本健一郎氏

■国際概況  
二月前半は、一月の中国工業生産増加指数が過去五か月間で最低となったこと、欧州諸国での

新型コロナウイルス感染再拡大に対する制限措置などのマイナスマテリアルもあつたが、春節の大型連休を控えた中国株式市場の代表的指数である上海総合指数が続伸し、今年の高値を付けたこと、二〇一五年十二月以来の高値を付けたこと、中国が春節休暇中にもかかわらず、回国需要期待は根強いことを好感しLMEアルミ相場はUP、二月十五日時点で二〇七六ドル(セツル)と月初価格から九〇・五ドルUPの前半締めとなった。

後半は、上海株安とその後の欧米株式の頭重い推移などのマイナスマテリアルもあつたが、中国の需要拡大期待やワクチン接種の拡大と、これに伴う世界景気の回復期待などを好感しLMEアルミ相場はUP、二月末日現在、後半スタート価格から二二三・五ドルUPの二、二〇一・五ドル。

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート (TTS)  
一〇五・六九→一〇七・二五 (円)。

◆自動車生産台数

生産動態統計によると、一月の自動車生産台数は前年比一〇・一%減の六五万二、八七八台。輸出は一〇%減。

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると、二月の自動車販売台数(軽除く)は前年比二・二%減の二六万二、三七二台。

◆新設住宅着工件数

一月の新設住宅着工は、持家及び分譲住宅は増加したが、貸家が減少したため、全体で前年同月比三・一%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比二・二%の増加となった。

新設住宅着工戸数は 五八、四四八戸。前年同月比三・一%減、一九カ月連続の減少。

新設住宅着工床面積は四、八二五千㎡。前年同月比〇・一%増、一八カ月ぶりの増加。

季節調整済年率換算値では八〇一千戸。前月比二・二%増、先月の減少から再びの増加。

◆貿易関連指標

輸出

財務省貿易統計によれば、輸出はアルミ新地金が前年比一六七・七%増の一六四t、二次合金が二九・八%増の二、三三三t、スクラップが四・二%増の一、三〇〇t、アルミ缶が一九・八%減の七、三三三t。

輸入

輸入は新地金が前年比三三・六%増の一、九七九t、二次合金が一六・二%減の八、七五二t、スクラップが六・六%増の四、六〇t、合金スクラップは六〇・六%増の五、四八三t。

■前月の国内指標

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比〇・九%増の二、三、四、二、二一tと三カ月ぶりプラス。アルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績によると、生産は前年比二・五%増の六万四、一六tと三カ月連続プラス、出荷は一・九%増の六万四、一三tと三カ月連続プラス。

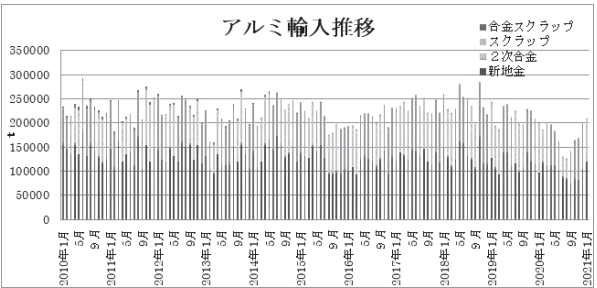
■自動車生産

生産動態統計によると一月の自動車生産台数は前年比一〇・一%減の六五万二、八七八台。輸出は一〇%減。

■自動車販売

日本自動車販売協会連合会によると、二月の自動車販売台数(軽除く)は前年比二・二%減の二六万二、三七二台。

このうち乗用車二・二%減、貨物二・二%増(六面へ続く)



【四面より続く】

【住宅着工戸数】

一月の新設住宅着工は、持家及び分譲住宅は増加したが、貸家が減少したため、全体で前年同月比三・二%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比二・二%の増加となった。

【アルミ圧延・押出品生産数量】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比〇・九%増の一三万四、二二一tと三カ月ぶりプラス。

このうち、板類は八万〇、八五一tで四・五%増と三カ月ぶりプラス、押出類は五万三、三七〇tで四・一%減と一六カ月連続マイナス。

【アルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績】

生産は前年比二・五%増の六万四、一一六tで三カ月連続プラス、出荷は一・九%増の六万四、一一三tと三カ月連続プラス。

【輸出】

アルミ新地金が前年比二六・七%増の一六四t、二次合金が二九・八%増の二、三八三t、スクラップが四二・二%増の二万三、八〇〇t、アルミ缶が一九・八%減の七、三三二t。

【輸入】

アルミ新地金が前年比二二・六%増の一・二万九、九九七t、二次合金が一六・二%減の八万七、七五二t、スクラップが六・六%増の四六〇t、合金スクラップが六〇・六%増の五、四六二t。

【見通し】

・ 一月の自動車生産が一〇・一%減。二月国内販売台数が前年比二・二%減。  
 生産・販売ともに減少。生産減は半導体不足と地震によるものが見極め必要。

・ 日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産・出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比〇・九%増の一三万四、二二一tと三カ月ぶりプラス。

今後プラスが続くかの動向に注視。

・ アルミニウム二次合金・同合金地金等実績によると、生産は前年比二・五%増の六万四、一一六tと三カ月連続プラス、出荷は一・九%増の六万四、一一三tと三カ月連続プラス。

自動車生産販売の減少に伴って減少するか注視。

・ アルミ輸出は相場の急騰や外需が比較的好調なことを受けて、地金、スクラップが大幅増。

・ アルミ輸入は国内自動車生産の減少から合金地金が減少。

【スクラップ景況予想】

流通在庫は、LME 価格が二、〇〇〇ドルから二、二〇〇ドルに急騰した過程で販売している事や、自動車生産減産に伴う発生減から少ない。

需要面に関しては、相場急騰に伴い上がる前の先行買いが進むが、メーカーは在庫は潤沢。

【LME・為替予想】

今月は①米金融緩和の長期化観測と②ワクチン接種による感染拡大抑制問題に左右される。

①に関しては

パウエル議長がインフレについて「大部分で弱い」との見解を示し「米経済は雇用とインフレ目標に達するまで長い道のりがある」と述べたことから金融緩和が当面維持されるのではないか。

②に関しては

米国では二月中旬時点で一日当たりの接種回数が七日間の平均で一四〇万回に達するなど、ペースが加速。拡大が治まるのは時間の問題ではないか。

これらを踏まえた二月のアルミ価格は二、〇〇〇〜二、二〇〇ドル(セツル)との予想。ドル円値は一〇四円〜一〇六円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては、据え置きから〇〜五円高程度と予測している。

LME 非鉄在庫 (3月3日発表分)

			3月2日	増	減		
			現				
入	出	在庫	在庫				
銅		1,350	950	74,100	+	400	
G	A	W	0	0	±	0	
G	A	C	1,350	950	74,100	+	400
す		ず	0	0	1,720	±	0
鉛		0	100	94,525	-	100	
亜鉛	S H G	0	275	269,200	-	275	
アル	ミ	4,975	8,025	1,304,075	-	3,050	
二次合金		0	0	1,480	±	0	
ニッケル		2,790	48	261,534	+	2,742	
アルミニウム (NASAA)		0	120	17,340	-	120	